

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●手塚貴久調教師がJRA通算400勝を達成

7月2日(土)の2回福島1日・第10レースとしておこなわれた猪苗代特別ではアルマイルが1着となり、同馬を管理する手塚貴久調教師(美浦)は、現役45人目となるJRA通算400勝(4268戦目)を達成しました。

●バウンスシャッセ、ペルーサ、ルルーシュの競走馬登録抹消

2016年愛知杯(GⅢ)などの勝ち馬バウンスシャッセ(牝5歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算成績16戦5勝)、2010年テレビ東京杯青葉賞(GⅡ)の勝ち馬ペルーサ(牡9歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算成績28戦5勝)、2012年アルゼンチン共和国杯(GⅡ)の勝ち馬ルルーシュ(牡8歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算成績22戦6勝)は、7月7日(木)までに競走馬登録を抹消されました。バウンスシャッセは北海道安平町のノーザンファーム早来で繁殖馬となり、ペルーサとルルーシュは種牡馬となる予定ですが繋養先は未定です。

●マーベラスサンデー、ファレノブシス、キンググローリアスが死亡

6月30日(木)、マーベラスサンデー(牡24歳)が老衰のため死亡しました。1997年宝塚記念(GⅠ)を勝つなどJRA通算15戦10勝の成績を残した同馬は、種牡馬としては日経賞(GⅡ)勝ち馬ネヴァブション、日経新春杯(GⅡ)勝ち馬シルクフェイマスなどを送り出し、種牡馬引退後は北海道新ひだか町の織田米晴氏に繋養され余生を送っていました。また北海道新冠町のノースヒルズで繁殖牝馬として供用されていたファレノブシス(牝21歳)は、7月1日(金)、くも膜下出血のため死亡しました。同馬は1998年に桜花賞(GⅠ)と秋華賞(GⅠ)を、2000年にはエリザベス女王杯(GⅠ)を制するなどJRA通算16戦7勝の成績を残して引退。産駒には報知杯フィリーズレビュー(GⅡ)2着のランタンキュラスなどがあります。7月2日(土)にはキンググローリアス(牡30歳)が老衰のため死亡しました。ハスケル招待H(米GⅠ)を勝つなど通算9戦8勝の成績を残した同馬は、1990年に日本軽種馬協会静内種馬場で種牡馬入りし、ナムラコクオーラの活躍でファーストシーズンチャンピオンサイヤーと2歳総合チャンピオンサイヤーを獲得。その後もデイリー杯3歳S(GⅡ)勝ち馬で東京優駿(日本ダービー/GⅠ)2着のボールドエンペラー、東海テレビ杯東海S(GⅡ)勝ち馬ワンダースピードなどを送り出し、種牡馬引退後は功労馬として静内種馬場に繋養されていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●スーパーキングレディーC(川崎)はホワイトフーガの貫禄勝ち

スーパーキングレディーC(JpnⅢ、7月6日、川崎、1600m)は、2番手から3コーナー手前で先頭に立ったホワイトフーガ(蛭名正義騎手、牝4歳、父クロフネ)が逃げたブルーチップ(大井)に2馬身差を付け、58%を克服して1番人気に応えました。3番人気のタイニードンサーは3着、2番人気のヴィータアレグリアは4着でした。

●高知の永森大智騎手がスーパージョッキーズトライアルに優勝

6月13日の盛岡、7月7日の名古屋で計4戦のポイント制で争われたスーパージョッキーズトライアル2016は、永森大智騎手(高知)が総合優勝を果たし、2016ワールドオールスタージョッキーズの地方競馬代表騎手候補となりました。

●ゴールドドリームらが出走、7月13日のジャパンダートダービー

ジャパンダートダービー(JpnⅠ、3歳、大井、2000m)は、ゴールドドリーム、ケイティブレイブ、ストロングパローズの三つ巴の戦いとなることが予想され、キョウエイギア、バルダッサーレ(大井)がそれに次ぐ存在です。他にJRAからはダノンフェイス、ノーモアゲームが出走を予定しています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●英G1エクリプスS～アメリカ産のホークビルが優勝

今季欧州初の3歳対古馬の中距離G1となるエクリプスSは7月2日、ロンドン郊外のサンダウン競馬場で行われ、2番人気タイのホークビル(牡3歳、父キトゥンズジョイ)が2番手から残り2割で先頭に立つと、外から迫る1番人気のザグルカを1/2馬身突き放して快勝しました。芝1000m、重馬場の勝ちタイムは2分10秒71。これで8戦6勝、G1初勝利で、今後も1000m路線へ。勝利騎手W.ピュイック、調教師C.アップルビー、馬主ゴドルフィン。前走プリンスオブウェールズS(英G1)で日本のエイシンヒカリを破ったマイドリームボートは2番人気タイで5着。

●仏G1サンクルー大賞～地元のシルヴァーウェイ抜け出す

良馬場のサンクルー競馬場(パリ)で7月3日に行われたサンクルー大賞(4歳上、芝2400m)は、5番人気のシルヴァーウェイ(牡4歳、父シルヴァーフrost)が中位から抜け出し、イラプトに1馬身1/2の差をつけて勝ちました。通算12戦5勝、G1初勝利。勝利騎手M.ギュイヨン、調教師P.パリ。